

あなたの稲を、

大切にお守りします。



# 箱いり娘<sup>®</sup> 粒剤

水稻育苗箱用殺虫殺菌剤

適用  
拡大

高密度は種に対応

主な水稻病害虫の防除が可能!!



いもち病



紋枯病



イネミスゾウムシ



イネドロオイムシ



セジロウンカ



コブノメイガ



フタオビコヤガ



# 箱いり娘<sup>®</sup> 粒剤

水稻育苗箱用殺虫殺菌剤

- 一 いもち病・紋枯病など水稻の主要病害に優れた効果
- 二 水稻初期害虫・ウンカ類・コブノメイガ・フタオビコヤガなど水稻の主要害虫に優れた効果
- 三 移植時側条施用および湛水直播水稻にも使用可能

## 適用病害虫および使用方法

有効成分：クロロアニジン…1.5%、スピネトラム…0.50%、イソチアニル…2.0%、フラメピル…4.0%

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病、紋枯病 イネドロオウムシ、イネミスゾウムシ ニカメイチュウ	1kg/10a	移植時	1回	側条施用
湛水 直播水稻	いもち病、紋枯病 イネミスゾウムシ、イネドロオウムシ ニカメイチュウ、フタオビコヤガ イネツトムシ、キリウジガガンボ		は種時		は種同時 施薬機を用いて 土中施用する
稲 (箱育苗)	いもち病、紋枯病、白葉枯病 もみ枯細菌病、穂枯れ(ごま葉枯病菌) 内穎褐変病 疑似紋枯症(褐色紋枯病菌) 疑似紋枯症(赤色菌核病菌) 疑似紋枯症(褐色菌核病菌) ウンカ類、ツマグロヨコバイ コブノメイガ、フタオビコヤガ イネミスゾウムシ、イネドロオウムシ イネツトムシ、ニカメイチュウ イネヒメハモグリバエ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g  高密度には種する 場合は1kg/10a [育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50~100g]	移植7日前 ~移植当日		育苗箱の 上から 均一に 散布する

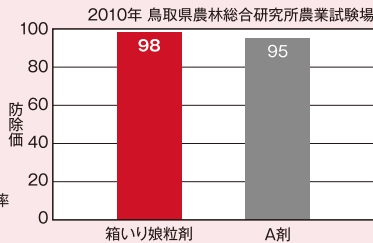
クロロアニジンを含む 農業の総使用回数	4回以内 (直播では種時までの処理または移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	スピネトラムを含む 農業の総使用回数	3回以内 (直播では種時までの処理または移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)
イソチアニルを含む 農業の総使用回数	3回以内 (直播では種時までの処理または移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)	フラメピルを含む 農業の総使用回数	2回以内 (直播では種時までの処理または移植時までの処理は1回以内)

2021年11月現在の登録内容(太字は2021年10月27日適用拡大)

## 試験成績

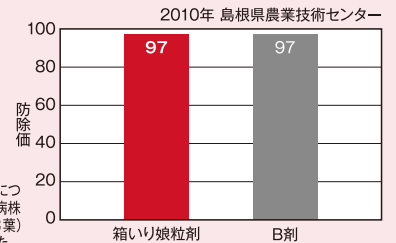
### いもち病(葉いもち)

品 種：ひとめぼれ  
移 植 日：5月18日  
処 理 日：箱いり娘粒剤/移植3日前  
A 剤/移植当日  
処 理 量：50g/箱  
発生状況：葉いもち/多発生(接種)  
無処理被害度：3.30%(発病面積率)  
調査日方法：  
移植64日後(7月21日)に各区30株の病斑面積率を調査し、防除値を算出した。



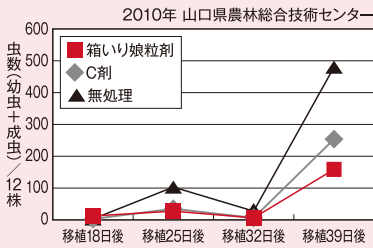
### 紋枯病

品 種：きぬむすめ  
移 植 日：5月20日  
処 理 日：箱いり娘粒剤/移植3日前  
B 剤/移植当日  
処 理 量：50g/箱  
発生状況：中発生(接種)  
無処理被害度：19.0(井上式被害度)  
調査日方法：  
移植115日後(9月12日)に各区任意の100株について発病の有無を調査した。また、この内の発病株20株について最上発病葉位ごと(止葉、次葉、3葉)の茎数を調査し、被害度および防除値を算出した。



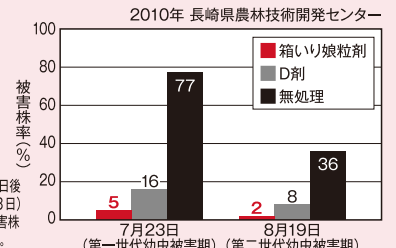
### セジロウンカ

品 種：ヒノヒカリ  
移 植 日：6月18日  
処 理 日：箱いり娘粒剤/移植3日前  
C 剤/移植当日  
処 理 量：50g/箱  
発生状況：多発生  
調査日方法：  
移植18日後(7月6日)、25日後(7月13日)、32日後(7月20日)および39日後(7月27日)に各区12株の虫数(成虫・幼虫別)を調査した。



### コブノメイガ

品 種：ヒノヒカリ  
移 植 日：箱いり娘粒剤/6月4日  
D 剤/無処理/6月5日  
処 理 日：移植当日  
処 理 量：50g/箱  
発生状況：やや多発生→少発生  
調査日方法：  
箱入り娘粒剤は移植49日後(7月23日)および76日後(8月19日)に、D剤/無処理は移植48日後(7月23日)および75日後(8月19日)に各区50株×2か所の被害株数ならびに被害葉数を調査し、被害株率を算出した。



## 注意事項

### (効果・薬害等の注意)

- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粉として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 側条施用する場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用してください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本田の整地が不十分な場合は薬害を生じやすいので、代かきはいないに行い、移植後田面が露出しないように注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないでください。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布してください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけてください。

- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。

### (安全使用上の注意)

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長スボン、長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

2021年11月作成 10,000 全新企画社 P3202111004